

いのちの言の葉2021

富山県教育委員会 令和3年度いのちの教育総合支援事業

いのちの先生「元小学校教師」

「あらちゃんとともに」
南砺市立城端小学校
令和3年7月1日実施

この「いのちの先生」は、以下の学
校でも授業をされています。
射水市立中太閤山小 12/14



【授業の概要】

- ① プレゼン資料を見ながら障害をもって生まれたお子さんの話を聞く。
- ② 「はなさき山」の絵本からいのちを輝かせて生きることの大切さを学ぶ。

(家族へ)

私は命の授業を聞いて、私の家族の一人でもいなかったら私は生まれなかったということ、ここまで命をつなぐにはたくさんの方が関わっているということについてすごいと思いました。いま、あたりまえに生きているけれどあたりまえにできない人もいます。ここまでいろいろなことを教え、育ててくれてありがとうございます。私はいまの生活があたりまえでないことが分かったので、これからは自分の命も他人の命も大切にしていきたいと思いました。私を産んでくれてありがとう。自分と家族と友達すべて、とても大切なものだとわかりました。

(保護者より)

生まれてきてくれてありがとう。家族みんなが待ち望む誕生でしたよ。お腹の中にいるときから元気で、お姉ちゃん、お兄ちゃんも楽しみに待っていたのです。生まれる前から大切にされていました。生活していると、嫌なこと、苦しいこと、辛いこと、涙が出ることもあると思います。そんなときにいのちの授業を思い出してくださいね。自分の命の大切さ、周りの人の命の大切さ、自分がどれだけ周りの人に支えられて生活しているのか、そして自分も周りの人の支えになっていること。自分のことを大切にできる人は周りの人も大切にできると思うので、命の大切さを忘れないでくださいね。

(家族へ)

私は今日の命の授業で、自分の命を自分で守ることも大切だし、人から守ってもらったり守ってあげたりすることも大切だと思いました。私が生まれた時、腕と首にへそのおがまきついて生まれ、すぐに手術をしました。そのあとがまだ残っていますが、みんなはこれまでやさしく見守ってくれました。私は今日、人を守ることでたくさんのうれしいことや楽しいことができるし、守られることでたくさんの人に出会えることを教えてもらいました。

(保護者より)

命の大切さが分かって、守ることの大切さを理解できたことが、また一步、大人に成長したんだなあと思います。今も人にやさしくできる〇〇だけど、これからも人にやさしく、人のために、人の気持ちが分かる人になってほしいと思います。いろんなことを考え、一つ一つ大人に成長していく姿を見守っていこうと思います。これからもやさしい〇〇でいてください。

